

石巻専修大学特集

http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225
(22)7711
広報専用FAX
0225
(22)7809

石巻専修大学は「社会知性の開発」を21世紀ビジョンに掲げ、学生の能力向上を優先した教育方針を前面にすえ、産官学協同事業の「知の発信」や高大連携を通じ、地域に根ざした大学として大きく躍進を続けている。

学長 坂田 隆



「知の発信」を地域へ 産・官・高大連携も促進

社会知性の開発と学生を中心とした大学運営を基本としています。学生の能力向上のため、教育の質を上げるという「教育第一主義」を最優先に掲げ、理工学部全学科でのコース制導入や経営学部の学部・大学院一貫教育を制度化したほか、通学バス支援も始めました。これからはハード、ソフト両面で改革を推進してまいります。

今年度から新たな取り組みとして、「入学前教育」と「導入教育」を全学で導入しました。また、教育水準を高め

「地域に開かれた大学」として産官学協同事業の「知の発信」を積極的に展開しています。これは本学教員の能力を世間に伝える良い機会になっています。そのほか小中高生に出前授業も行っています。これも子供たちを知の世界に導く機会であると考えています。

高大連携としては、石巻商業高校、東松島高校、女川高校と協定を締結しました。石巻商業高校からは生徒が毎週来学して、講義を受けています。東松島高校には教員が、女川高校には教員が、石巻商業高校や石巻中心市街地の活性化にも宮城県や石巻市、石巻商工会議所などと連携し、積極的に協力しています。今後も産官学連携、高大連携を充実させていくつもりです。

また、自動車産業の振興や石巻中心市街地の活性化にも宮城県や石巻市、石巻商工会議所などと連携し、積極的に協力しています。今後も産官学連携、高大連携を充実させていくつもりです。

能力向上優先の「教育第一主義」

ハード・ソフト両面で改革

フレッシュユマニティセミナー 入学後の勉学・生活をサポート

08年度からスタート

全学教務委員会(大谷 セミナー(基礎セミナー(尚文委員長)では、入学後の勉学や学生生活をサポートするための導入教育としてフレッシュユマニティ

入学後の勉学・生活をサポートするために、入学後の必要とされるさまざまな能力やスキルの習得を目指す学習支援プログラム②学生生活を円滑にするための多様な情報や援助を提供する学生生活支援プログラムと

基礎理学科

根本 智行教授

私たちの生活や環境の質の向上には、自然科学(化学、生物学、物理学)の視点が重要です。美と健康コースは関東以北



情報電子工学科

菅原 澄夫教授

プログラミング、コンピュータネットワーク、情報コンテンツなど、実践的な情報処理技術者を育成します。

生活と自然を科学する

総合科学コース

植物のつくる自然、植物の機能とその利用について学び、植物の保護や植物資源の活用への視点を養います。

IT社会の技術者育成

先端エレクトロニクスコース

先端技術を支える半導体デバイス、集積回路、先端的デバイスに精通し、その開発や製造が担える人材を育成します。

各学科で「コース制」導入進む

機械工学科

島田 了八教授

主たる工業分野の最先端技術に対応できる技術者を養成することが学部の方針です。

最先端の技術者を養成

エネルギー輸送システムコース

一般にかかわる学問の中で、熱・流体の移動を重点的に学び、冷却、熱交換、冷凍、空調、燃焼、流動、流体機械、航空宇宙など広範な分野の技術者を養成します。

生物生産工学科

松谷 武成教授

多様な生物の生き方を研究して生命を知り、そして人を知るといのが基本です。

生物の生き方を学ぶ

生態系修復コース

森や川、海に生息する様々な生物(動物、植物、原生動物)から水や環境をきれいにする力の原因を探り、生態系の維持や環境の浄化と好ましい環境の創造の方策を学び、環境汚染関連の専門家を育てます。

自動車工学コース

自動車工学コースは東北のシステムを構築できる技術者を育てます。

最先端の技術者を養成

ロボット、コンピュータを応用した機械設計・制作、あるいはマイクロマシンなどの機械システムが急速に拡大を遂げる中で、多様な機械や機械要素を融合し、機械システムを構築できる技術者を育てます。

生物の生き方を学ぶ

生態系修復コースは、森や川、海に生息する様々な生物(動物、植物、原生動物)から水や環境をきれいにする力の原因を探り、生態系の維持や環境の浄化と好ましい環境の創造の方策を学び、環境汚染関連の専門家を育てます。

生物の生き方を学ぶ

生態系修復コースは、森や川、海に生息する様々な生物(動物、植物、原生動物)から水や環境をきれいにする力の原因を探り、生態系の維持や環境の浄化と好ましい環境の創造の方策を学び、環境汚染関連の専門家を育てます。

学びの特徴をわかりやすく



国際化、情報化、学際化、総合化という教育方針を踏まえ、横断的な学習内容が魅力です。4コースを設けていますが、他コースの知識も身に付けることができるほか、1年次で基礎セミナーを履修し、4年間一貫した学習を重視しています。聞いて学ぶだけでなく、ディスカッションを重ね、知識をものにできる、独自のカリキュラムを組んでいます。

●事業経営コースは人事、営業・販売、企画、マーケティングなど将来、どの仕事に就いてもリーダーシップがとれるよう、経営全般の知識を身につけ、起業希望者や企業経営者のほか、自治体、公共企業体、NPO、一般企業で即戦力となる人材を育成します。

●国際経営・観光コースは「モノと金の金融面からとらえた国際ビジネスコースから発展させた08年度に改称したコースです。東北を世界に発信する基地として、観光から「地域(まち)をつくる」という視点から、地域の観光戦略、立案・PRという学習を柱にしています。国際経営、観光の専門職を目指す人にとって興味あるコースと言えます。

●情報ビジネスコースはインターネットからユビキタスコンピューティングへと急進を遂げる情報社会で、経営の専門知識や経営統計学などの知識に加え、システム設計・管理などコンピュータによるビジネスツールを武器に即戦力となる専門職を育てます。

●ビジネス会計コースは経営実務に必要な不可欠な会計の基礎となる簿記・原価計算をしっかりと学び、経理・財務といった会計分野をコンピュータで効率的に処理する知識を習得します。情報に強いビジネススペシャリストはあらゆる方面で活躍できます。

グラミング、コンピュータネットワーク、情報コンテンツなど、実践的な情報処理技術者を育成します。

●先端エレクトロニクスコースは先端技術を支える半導体デバイス、集積回路、先端的デバイスに精通し、その開発や製造が担える人材を育成します。

●カーエレクトロニクスコースはハイブリッドカーや電気自動車の開発が急速に進む中、カーエレクトロニクス技術者の育成が重要となります。

自動車メカニズムとその電子制御や車載用コンピュータの関連技術を学び、自動車産業界で活躍できる技術者の育成を目指します。